

日本分析化学会九州支部

# 支 部 ニ ュ ー ス

第 36 号 2017 年 8 月

九州支部ウェブサイト

[http://www.jsac.or.jp/~jsac\\_kyushu/](http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/)

2017 年度 日本分析化学会九州支部

〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪 2-39-1

熊本大学大学院 先端科学研究部 基礎科学部門 化学分野

# 支部活動報告

## ❖ 2017年度 第1回常任幹事会 ❖

2017年6月17日(土)、熊本大学仮設校舎D棟2階会議室Bにおいて日本分析化学会九州支部2017年度第1回常任幹事会が開催されました。議事録は支部ウェブサイトに掲載しております。下記リンクよりご覧下さい。

[http://www.jsac.or.jp/~jsac\\_kyushu/2017/17minute1.pdf](http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/2017/17minute1.pdf)

## ❖ 第30回九州分析化学若手の会 春の講演会 ❖

主催：九州分析化学若手の会、日本分析化学会九州支部

世話人：九州工業大学大学院工学研究院 佐藤しのぶ

2017年5月13日(土)、北九州国際会議場21会議室において、第30回九州分析化学若手の会春の講演会が開催されました。戸田敬支部長の挨拶に始まり、以下のバイオ分析における蛍光分析並びに熱力学分析の4名の先生方に基礎的なところから最新の研究成果まで、わかりやすく興味深いご講演をいただきました。講演終了後、次期2018年(第31回)の春の講演会世話人である巴山忠先生(福岡大薬)と、今夏開催予定の第35回夏季セミナー世話人である梅木辰也先生(佐賀大院工)から予告があり、引き続いて情報交換会を催しました。講演会には理・工・薬の幅広い分野の若手研究者ならびに院生・学部生など56名が、情報交換会にも19名の参加者がありました。



王子田先生講演の様子

## 講師・講演題目

- 新しいセンシング機構を組み込んだ蛍光プローブのデザインと応用  
(九大院薬) 王子田 彰夫 先生
- 蛍光タンパク質と特殊な酵素反応系を組み合わせた細胞内タンパク質の蛍光ラベル化技術の開発  
(九工大院情工) 末田 慎二 先生
- 熱分析を利用した生体分子相互作用解析について  
(ティー・エイ・インストルメント・ジャパン(株)) 麻見 安雄 先生
- 熱分析から低分子薬剤の探索・設計に挑む  
(東大医科研) 長門石 暁 先生



末田先生講演の様子



麻見先生講演の様子



長門石先生講演の様子



戸田先生の挨拶と会場の様子

#### ❖ 2017年度 日本分析化学会表彰 ❖

2017年度の日本分析化学会学会賞に九州支部より九州大学大学院工学研究院の今任 稔彦教授が選ばれました。研究業績は「新規センシング技術を用いるフロー分析法の開発」です。

また、先端分析技術賞-JAIMA 機器開発賞に九州大学大学院システム情報科学研究院の興 雄司教授が選ばれました。今後の益々のご活躍を期待しております。

#### ❖ 2017年度 九州分析化学会賞 ❖

選考委員会による審査の結果、九州大学大学院工学研究院応用化学部門の片山 佳樹教授が2017年度九州分析化学会賞の受賞者に決定いたしました。受賞題目は「診断・創薬のためのプロテインキナーゼ分析法に関する研究」です。おめでとうございます。

片山先生には秋の支部講演会での講演をお願い致しますと共に、今後とも、九州支部の発展のためにお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ❖ 2017年度 九州分析化学奨励賞 ❖

選考委員会による審査の結果、2017年度九州分析化学奨励賞の受賞者は以下の2名に決定いたしました。おめでとうございます。受賞者の皆さまには今後の発展と共に、分析化学会および九州支部への貢献を期待いたします。また、次年度も会員の皆様からの本奨励賞への積極的な応募をお願いいたします。

#### 受賞者・受賞題目

- 中野 雄太 君（九州大学大学院工学府化学システム工学専攻・博士後期課程2年）

「レーザーイオン化質量分析のための極限超短光パルスの発生と計測に関する研究」

- 廣田 和敏 君（熊本大学大学院自然科学研究科理学専攻化学講座・博士後期課程3年）

「大気環境中の植物起源・人為起源揮発性有機化合物に関する研究」

#### ❖ 第54回 化学関連支部合同九州大会 ❖

共催：（公社）日本分析化学会九州支部ほか7化学関連支部

期日：2017年7月1日（土）

会場：北九州国際会議場

分析化学関係の依頼講演

- 高椋 利幸 先生（佐賀大学大学院工学系研究科）  
「量子ビームを用いたイオン液体の物性分析」

プログラム：

ポスターセッション（分析化学分野 13:40～14:40）

AC-5-001～AC-5-054）まで計54件

他のセッション等については、大会ホームページ（<http://godo-kyushu.jp/godo/index.html>）をご覧ください。

2017年度九州分析化学ポスター賞の受賞者は、審査の結果以下の4名に決定いたしました。おめでとうございます。受賞者の皆さまには今後の更なる発展を期待いたします。

- 中島 生羽 君（九州工業大学大学院工学府）  
「カテプシンBの電気化学的検出を目指したフェロセン化ペプチド修飾電極の評価」
- 弥永 洋平 君（九州大学大学院工学府）  
「疎水性相互作用制御による金ナノ粒子単層膜構造の特評評価」
- 網屋 祐輔 君（九州大学大学院生物資源環境科学府）  
「MALDI-MS法による血中ペプチドの高感度検出」
- Willy Cahya Nugraha 君（熊本大学大学院自然科学研究科）  
「Analytical Method for Differentiate Cr(VI) and Cr(III) in Soil Extract by Graphite Furnace Atomic Absorption Spectrometry」

### ❖ 新技術・インハウスセミナー ❖

主催：日本分析化学会九州支部(熊本地区)  
共催：(株)ジェイ・サイエンス西日本/(株)ジェイ・サイエンス・ラボ  
期 日：平成 29 年 5 月 16 日(火)～17日(水)  
場 所：熊本大学薬学部附属創薬研究センター  
テーマ：ICP-MS 用気体試料導入システム GED(Gas Exchange Device) による実試料の測定  
使用機器：

① 機器分析施設様の ICP-MS(ThermoFisher 社製)  
② ICP-MS 用気体試料導入システム(GED)(株)ジェイ・サイエンス・ラボ社製)  
内 容：ICP-MS&気体試料導入システム (GED) による浮遊微粒子状金属測定及びガス状金属 (Hg) の測定  
プログラム

・ 5 月 16 日(火) 1 日目  
(1)13:30～14:30 ICP-MS 用気体試料導入システム GED の構成説明

(2)14:30～16:30 大気中微粒子の測定\*学内大気 &採取バッグによる熊本市内の各所と阿蘇周辺大気  
・ 5 月 17 日(水)2 日目

(1) 13:30～14:30 ICP-MS 用気体試料導入システム GED の構成説明  
(2) 14:30～16:30 大気中水銀のリアルタイム測定 \*学内大気&採取バッグサンプルによる測定  
実習講師：西口 講平 (株)ジェイ・サイエンス・ラボ社：技術部ガス交換部)

参加料：無料  
問合せ先：(株)ジェイ・サイエンス西日本 (Tel：092-611-9161 Fax：092-611-9165) 担当：古財、佐藤、川上

### ❖ 機器分析ワークショップ ❖

主催：日本分析化学会 九州支部  
協賛：(株)ジェイ・サイエンス西日本、(株)ジェイ・サイエンス・ラボ、サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)、(株)西村商会  
日時：平成 29 年 5 月 24 日(水) 13：30～16：20  
場所：長崎大学薬学部(講義棟) 2F 第二講堂  
【テーマ】

① 高分解能高感度、二重収束型 ICP-MS のご紹介及び四重極型 ICP-MS の実情  
講師：牧 喬志(サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)エレメンタル事業部)

② 高分解能フーリエ変換型質量分析計 Orbitrap と超高感度三連四重極型質量分析計を組み合わせた無標準 LC-MS/MS 測定  
講師：高梨 啓和(鹿児島大学大学院理工学研究科・准教授)

③ 灰分回収可能な省スペース小型有機微量分析装置(唯一国産)のご紹介  
講師：森田 正義(株)ジェイ・サイエンス・ラボ 技術部 元素分析室)

参加費：無 料

【問合せ及び申込先】

(株)ジェイ・サイエンス西日本 (TEL：092-611-9161 FAX：092-611-9165) 担当：川上、松尾  
(株)西村商会 (TEL：095-828-2222、FAX：095-824-6144) 担当：八頭司

### ❖ 第 35 回 九州分析化学若手の会 夏季セミナー ❖

主催：九州分析化学若手の会、日本分析化学会九州支部  
期日：2017 年 7 月 28 日(金)～29 日(土)  
会場：ホテルパーレンス小野屋(福岡県朝倉市)  
内容：分析化学に関する若手研究者間の勉強会、講演

○招待講演 1：吉本 敬太郎 先生  
(東京大学大学院総合文化研究科、JST さきがけ)  
「大規模配列解析と高性能分離場を利用する核酸アプタマーの選抜」

○招待講演 2：真栄城 正寿 先生  
(北海道大学大学院工学研究院)  
「マイクロ・ナノデバイスを用いた生体分子測定法の開発と応用」

○九州分析化学奨励賞授与式・受賞講演

○九州分析化学ポスター賞受賞者模範ポスター発表



招待講演 吉本敬太郎先生

○一般ポスター発表：(審査の結果、7名の方が九州分析化学若手賞(ポスター賞)に選出されました。)

○総会

○情報・意見交換会

世話人：佐賀大学大学院工学系研究科 梅木 辰也

7月28(金)～29日(土)の日程で、第35回九州分析化学若手の会夏季セミナーをホテルパレンス小野屋にて開催いたしました。今年は、26研究室/団体から132名の参加がありました。

1日目は、開会式後、1件の招待講演から始まりました。吉本 敬太郎先生より、招待講演をしていただきました。先生の研究を理解する上で欠かせない基本から先端の研究まで、初学者にもわかりやすい講演をしていただきました。座長は、松田 直樹先生(産総研)にご担当いただきました。

次に、第54回化学関連支部合同九州大会においてポスター賞を受賞された以下の4名の方に模範ポスター発表をしていただきました。座長の先生の進行のもと、活発な議論だけでなく、良いポスター発表をするための工夫についても説明がありました。座長は、大渡 啓介先生(佐賀大)、神崎 亮先生(鹿

児島大)、石松 亮一先生(九州大)、岸川 直哉先生(長崎大)にご担当いただきました。

・Willy Cahya Nugraha さん(熊本大学大学院自然科学研究科)

「Analytical Method for Differentiate Cr(VI) and Cr(III) in Soil Extract by Graphite Furnace Atomic Absorption Spectrometry」

・弥永 洋平さん(九州大学大学院工学府)

「疎水性相互作用制御による金ナノ粒子単層膜構造の特評評価」

・中島 生羽さん(九州工業大学大学院工学府)

「カテプシンBの電気化学的検出を目指したフェロセン化ペプチド修飾電極の評価」

・網屋 祐輔さん(九州大学大学院生物資源環境科学府)

「MALDI-MS法による血中ペプチドの高感度検出」

上記の模範ポスター発表の後、一般ポスター発表を行いました。今回、69件の発表があり、参加者全員による審査の結果、以下の7名が九州分析化学若手賞(ポスター賞)を受賞されました。若手賞受賞者の皆様、おめでとうございます。

・小出 芙美さん(九州大学大学院生物資源環境科学府)

「移流拡散透析法によるウイスキーの脱アルコールに関する研究」

・中畑 大悟さん(九州大学大学院生物資源環境科学府)

「濃厚エマルションの液滴径分布と流動性に関する研究」

・古庄 仰さん(九州大学大学院薬学研究院)

「カラム内径比を制御した新規高感度型二次元キラル HPLC 分析装置の開発と脳内 D-アミノ酸含量の解析」

・庄司 莉子さん(福岡大学薬学部)

「エキシマー蛍光誘導体 HPLC 法によるドウモイ酸の選択的分析」

・山口 桃果さん(福岡大学薬学部)

「分子内会合誘起発光に基づくジチオール及びジアミンの選択的蛍光分析」

・山崎 翔平さん(北海道大学大学院総合化学院)

「マイクロ流体デバイスを用いたリゾチームの結晶化制御」

・佐伯 健太郎さん(熊本大学大学院自然科学研究科)



W. C. Nugraha さん



弥永洋平さん



中島生羽さん



網屋祐輔さん

模範ポスター発表

「昆虫触角の香気成分応答計測に関する基礎研究」



九州分析化学若手賞受賞者

ポスター発表、休憩の後の夕食では、各研究室の趣向を凝らした愉快的な研究室紹介がありました。会場のホテルパーレンス小野屋様のご厚意で、情報交換会の会場をご用意いただき、夕食後は、夜遅い時間まで、大学をこえて、熱い議論がかわされておりました。また、今年も、エルガラボウォーター様からのご厚意により、会場で超純水装置による水割をご提供いただきました。会を盛り上げていただきました皆様、ありがとうございました。

2日目は、朝食後、九州分析化学若手の会総会を開催し、年間行事と会計について夏季セミナー世話人の梅木より報告が行われました。続いて、北海道支部との交流事業でお招きした真栄城 正寿先生より、招待講演をしていただきました。初学者にもわかりやすく、かつサイエンスを楽しんでいらっしやることがよくわかる講演をしていただきました。座長は、巴山 忠先生（福岡大）にご担当いただきました。



招待講演 真栄城正寿先生

九州分析化学奨励賞授与式の後、九州支部奨励賞を受賞された2名の方による講演を執り行いました。いずれの受賞者もさすがと思わせる完成度の高い発

表でした。座長は、井上 高教先生（大分大）にご担当いただきました。

- 中野 雄太さん（九州大学大学院工学府）  
「レーザーイオン化質量分析のための極限超短光パルス発生と計測に関する研究」
- 廣田 和敏さん（熊本大学大学院自然科学研究科）  
「大気環境中の植物起源・人為起源揮発性有機化合物に関する研究」



中野雄太さん



廣田和敏さん

九州分析化学奨励賞受賞講演

今年もベスト質問賞を設けて、学生からの質問を奨励したところ、質問時間を大幅にオーバーするほどの質問が寄せられました。いずれの質問もレベルが高く、頼もしいかぎりでした。以下の2名が、質問賞を受賞されました。ベスト質問賞受賞者の皆様、おめでとうございます。

- 大野直土さん（九州大学大学院農学研究院）
- 山口桃果さん（福岡大学薬学部）



ベスト質問賞受賞者

本年度の夏季セミナーの運営に際して、九州支部からの助成に加え、日本分析化学会全国若手交流会、加藤科学振興会、日本文具財団及び多数の企業から

助成金や広告費としてご支援して頂きました。この場をお借りして御礼申し上げます。7月5～6日に発生しました九州北部豪雨によって福岡県朝倉市は甚大な被害を受け、本セミナーの開催をご心配された方も多くいらっしゃったと思いますが、無事に開催することができ、また大過なく終えることができました。講演者、座長の先生方ならびにご参加いただいた皆様、そして運営にご協力いただきました多くの方々に深く感謝の意を表します。来年は、熊本大学の北村裕介先生がお世話をされ、植木温泉（熊本県熊本市）で開催される予定です。また多くの方にご参加いただきますよう御願いたします。

世話人 佐賀大学大学院工学系研究科  
梅木辰也



第35回九州分析化学若手の会夏季セミナー 参加者集合写真

❖ 第 58 回 分析化学講習会 ❖

主催 日本分析化学会九州支部

共催 福岡市, 九州大学学術研究都市推進機構, 日本化学会九州支部, 電気化学会九州支部, 日本薬学会九州支部, 日本食品科学工学会西日本支部, 日本農芸化学会西日本支部, 日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部, 日本臨床化学会九州支部, 福岡県環境計量証明事業協会

期日 8月8日(火) ~ 10日(木)

会場 九州大学伊都キャンパス(〒819-0395 福岡市西区元岡 744)

福岡市産学連携交流センター(〒819-0388 福岡市西区九大新町 4-1)

福岡大学理学部(〒814-0180 福岡市城南区七隈 8-19-1)

講義(8月8日, 9:30~17:00, 福岡市産学連携交流センター)

1. 高速液体クロマトグラフィー

(九大院薬) 浜瀬 健司

2. 高速液体クロマトグラフィー

(熊大環共) 白土 英樹

3. 原子スペクトル分析

(九環協) 天日 美薫

実習または講義と実習(8月9日・10日, 9:30~16:30, 各日1コース, 2日間で計2コースを選択)

1. ガスクロマトグラフィー(GC)

(熊大環共) 白土 英樹

(九大院農) 井倉 則之

A. 化合物の同定(保持指標, マススペクトル)

B. 定量分析(内標準法)

C. 試料導入法(スプリット法, スプリットレス法)

D. 香気成分のサンプリング(固相マイクロ抽出法)

E. 食品の香気成分分析(GC-MS法)

2. 高速液体クロマトグラフィー(HPLC)

(九大院薬) 浜瀬 健司

(福岡大薬) 巴山 忠

A. 逆相 HPLC の基礎実習と実試料分析(医薬品・化粧品分析)

B. HPLC 機器の内部構造とメンテナンス

C. HPLC 用超純水製造装置

D. 超高速全自動プレカラム誘導体化アミノ酸分析

E. PDA 検出器並みの感覚で使用出来る MS 検出器の紹介

F. 逆相モード, HILIC モードを用いた低分子化合物の分離~汎用から最新の高速分析カラムまでのカラム選択~

G. 多次元 HPLC システムによる高分解能分析

H. イオンクロマトグラフィーによる水, 大気などの環境分析ならびに各種品質評価

I. 卓上小型 MS 検出器 ACQUITY QDa を用いる新感覚 LC-MS 分析

J. 分取・精製クロマトグラフィー/円二色性検出器を用いたキラル分離

3. 誘導結合プラズマ質量分析法(ICP-MS)の実習(九環協) 天日 美薫

A. 固相抽出法による模擬海水試料の前処理

B. 固相抽出の実習(工業廃水:Cr(VI)分子認識固相)

C. マイクロピペッターの精度管理とメンテナンス

D. ICP-MS 法による金属分析及びメンテナンス

4. X線分析の講義と実習(X-ray)(8月9日のみ, 福岡大学理学部)

(福岡大理) 栗崎 敏

(福岡大理) 市川 慎太郎

A. X線分析(回折, 蛍光 X線分析)の基礎に関する講義と測定及びデータの解析

5. 電子顕微鏡分析の講義と実習(EM)(8月10日のみ, 福岡市産学連携交流センター)

(九大院理) 宇都宮 聡

A. 電子顕微鏡分析(SEMとTEM)の基礎に関する講義とSEMによる試料観察

ランチョンセミナー(8月9日・10日, 12:00~13:00, 九州大学伊都キャンパス)

使用機器 サーモフィッシャーサイエンティフィック(ジェイ・サイエンス西日本), 東ソー, 島津製作所, 日本分光, 日立ハイテクサイエンス, 日本ウォーターズ, シーエルサイエンス, エムエス機器, 資生堂, オルガノ, メルクの提供による最新機器

参加費 主催・共催会員 35,000円、会員外 45,000円、学生 15,000円

問合先

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町 1-1

九州工業大学大学院工学研究院

物質工学研究系応用化学部門



実行委員長 竹中 繁織  
(TEL&FAX 093-884-3322)  
庶務 佐藤 しのぶ  
会計 末田 慎二

8月8日から8月10日にかけて、第58回分析化学講習会が福岡市産学連携交流センター、九州大学伊都キャンパスおよび福岡大学七隈キャンパスで開催されました。受講生は3日間で延べ約150名で例年とほぼ同様であり、西日本全域から多くの企業や団体から参加いただきました。

初日の講義（1. 高速液体クロマトグラフィー(HPLC)、2. ガスクロマトグラフィー(GC)、3. 原子スペクトル分析(AAS)）は福岡市産学連携交流センターの多目的ホールで行われました。それぞれ浜瀬講師（九大院薬）、白土講師（熊本大環共）と天日講師（九環協）に担当いただきました。またランチタイムに、九州大学学術都市推進機構および福岡市産学連携交流センターの「分析・解析よろず相談室」の紹介もなされました。ランチタイム後には、福岡市産学連携交流センターの見学会が行われました。

2日目はGC、HPLC、ICP-MSの実習に加えて、昨年に引き続きX線分析(X-ray)の講義と実習を栗崎講師（福岡大理）、市川講師（福岡大理）に担当いただきました。今年も昨年同様に、実機を用いた実習を行って頂けるよう、福岡大学七隈キャンパスにて開講していただきました。またランチタイムにはメルクの金子講師によるランチョンセミナーが開催されました。実習後には、九州大学伊都キャンパス内の天天にて情報交流会が行われ、次年度の実行委員長・戸田 敬より挨拶がありました。

3日目は、GC、HPLC、ICP-MSの実習に加え、こちらも昨年に引き続き電子顕微鏡分析(EM)の講義と実習を宇都宮講師（九大院理）に担当いただきました。今年は午前中に講義を九州大学伊都キャンパスで、午後に実習を福岡市産学連携交流センターで行って頂きました。ランチョンセミナーはオルガノの牧野講師に行って頂きました。3日目の実習終了後には、HPLCの修了試験が実施されました。これは、日本分析化学会認定資格である「HPLC分析士」の試験免除が認められるものであり、関東地区以外では唯一、九州支部の分析化学講習会で実施さ

れています。

第58回分析化学講習会をなんとか無事に終えることができました。これも関係された皆様のご支援のおかげです。最後になりましたが、ご参加いただいた受講生の皆様、ご協力いただきました幹事会社、協力会社様、ご助言、ご助力をいただきました九州支部の先生方にこの場をお借りして感謝申し上げます。[竹中繁織]



ICP-MS 講義の様子



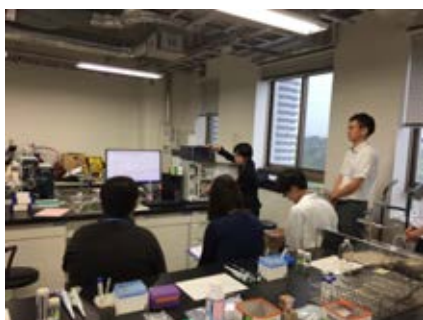
分析 NEXT「よろず相談」の紹介



福岡市産学連携交流センター見学会



GC 実習の様子



HPLC 実習の様子



情報交換会の様子

# 行事案内

## ❖ 日本分析化学会第 66 年会 ❖

期日：2017 年 9 月 9 日（土）～ 12 日（火）

会場：東京理科大学葛飾キャンパス（東京都葛飾区）

開催日程：

### 9 月 9 日（土）：

一般講演（口頭），依頼講演（口頭），研究懇談会講演，特別シンポジウム，チュートリアルセッション，Asia/ CJK，分析化学フューチャーセッション

### 9 月 10 日（日）：

一般講演（口頭），若手講演（ポスター），依頼講演（口頭），テクノレビュー講演（口頭），受賞講演，

研究懇談会講演，特別シンポジウム，産業界シンポジウム，Asia/ CJK，ランチョンセミナー，機器展示会

### 9 月 11 日（月）：

一般講演（口頭，ポスター），若手講演（ポスター），依頼講演（口頭），テクノレビュー講演（口頭，ポスター），受賞講演，研究懇談会講演，特別シンポジウム，学会賞等授賞式，学会賞受賞講演，懇親会，ランチョンセミナー，機器展示会

### 9 月 12 日（火）：

一般講演（口頭，ポスター），依頼講演（口頭），テクノレビュー講演（口頭，ポスター），受賞講演，研究懇談会講演，特別シンポジウム，機器展示会

参加予約登録最終締切日：8 月 16 日（水）14 時  
ただしクレジット決済のみ、支払方法により締切日が異なります。詳細はウェブサイトをご覧ください。  
講演要旨集発行日：8 月 26 日（土）

### 【特別シンポジウム】

日時：9 月 9 日（土）～ 12 日（火）

1. 分析技術による企業内 R&D 推進と課題解決
2. 定量分析法としての NMR の意義と応用
3. ナノ・マイクロ化学分析の最前線
4. 流れ分析法とその関連技術の新展開
5. 分離メカニズムの創成～前処理と分離検出の新展開～
6. 分析化学をリードする若手研究者シンポジウム
7. センサ IoT と分析化学の融合展開
8. 実試料に挑む電気分析化学
9. 未来を育む暮らしの安全・安心と分析化学
10. 細胞分析の新展開
11. 最先端分離化学とその応用

詳細は以下のホームページをご覧ください。

[http://conference.wdc-jp.com/jsac/nenkai/66/special\\_lecture.html](http://conference.wdc-jp.com/jsac/nenkai/66/special_lecture.html)

【産業界シンポジウム】企業における未来志向の最先端分析解析技術

日時：9 月 10 日（日）午後

詳細は以下のホームページをご覧ください。

[http://conference.wdc-jp.com/jsac/nenkai/66/public\\_sympo.html](http://conference.wdc-jp.com/jsac/nenkai/66/public_sympo.html)

【チュートリアルセッション】 分析化学実験 基本の“き”(その基本, おさえていますか?)

日時: 9月9日(土) 午後

詳細は以下のホームページをご覧ください。

[http://conference.wdc-jp.com/jsac/nenkai/66/public\\_sympo.html](http://conference.wdc-jp.com/jsac/nenkai/66/public_sympo.html)

【Asia/CJK symposium on analytical science 2017】

日時: 9月9日(土) ~ 10日(日)

詳細は以下のホームページをご覧ください。

<http://conference.wdc-jp.com/jsac/nenkai/66/meeting.html>

【分析化学フューチャーセッション】

日時: 9月9日(土)

詳細は以下のホームページをご覧ください。

<http://conference.wdc-jp.com/jsac/nenkai/66/meeting.html>

問合先:

日本分析化学会第66年会実行委員会事務局

〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3

東京理科大学理学部1部化学科

実行委員長 宮村一夫

E-mail: [nenkai66-ml@@tusml.tus.ac.jp](mailto:nenkai66-ml@@tusml.tus.ac.jp)

会場アクセス等詳しくは下記ウェブサイトおよび「ぶんせき」をご覧ください

<http://conference.wdc-jp.com/jsac/nenkai/66/index.html>

#### ❖ 支部招待講演会・見学会 ❖

2017年支部講演会・見学会は、例年通り幹事会に合わせて開催するよう準備をすすめています。特に見学会は堀場製作所の内原博部長(開発本部アプリケーション開発)および堀場エステックの山口裕二九州中央営業所長が中心となり準備を進めています。本年度は、11月17日(金)に、熊本大学にて支部講演会および堀場エステック阿蘇工場(熊本県阿蘇郡西原村)にて見学会を開催の予定です。講演会では、九州大学の片山佳樹教授による受賞講演、ならびに内原博部長による堀場製作所の最新の分析技術についての講演が行われます。施設見学会では、

医療向け検査装置や半導体産業・分析機器産業向け流体制御機器の製造工程の見学を予定しています。また、熊本地震の復旧と大幅な拡張を行っている新工場建屋も見学会のところに竣工の予定です。

～堀場製作所、堀場エステック阿蘇工場ご紹介～

堀場製作所は、1945年、故堀場雅夫氏が京都大学在学中堀場無線研究所を創業し、pHメーターを開発販売したことから始まったベンチャーの老舗のような企業です。今では、自動車計測、環境・プロセス、医用分野、半導体分野、科学分野を柱にさまざまな分析機器を世の中に提供し、グループ全体での社員数は約7,000人、その半分以上は外国人とグローバルな企業になっています。

エステックは、1974年、大気汚染が全国的に問題になったころ通産省の働きかけにより株式会社スタンダードテクノロジーとして創設されました。多くの分析計メーカーが大気汚染測定器の開発販売を開始しましたが、これらの測定器をキャリブレーションするための装置が世の中になかったからで、分析機器メーカー6社が出資し合いました。標準ガスの発生装置や希釈装置の開発がひと段落したあと、これらの装置開発に必要であった質量流量の計測や制御(mass flow controller: MFC)に力を入れ、特に半導体向けに市場を拡大してきました。1984年より株式会社エステックとして親しまれてきましたが、もともと堀場雅夫氏が社長を兼務しており、2004年には堀場エステックと社名を改め堀場グループの重要な一員となりました。微細加工やMEMSを利用したセンサなどの研究開発にも力を入れていますし、十六重極構造による質量分析器や標準物質が不要となるガスクロマトグラフィーのユニバーサルな検出器など、新しい分析装置の研究開発もすすめています。

1988年に縁あって熊本の西原村にエステック阿蘇工場ができました。広大な敷地に当初6名ではじめた工場ですが、今では約500名の従業員が勤務する堀場グループのマザー工場になっています。堀場エステックの主力商品であるMFCや液体材料供給装置、ならびに堀場製作所の医療関連分析装置などを生産しています。

阿蘇工場は熊本空港から車で10分という便利な地にありながら阿蘇の外輪山を仰ぎ見る風光明媚な場所に位置します。熊本地震で生産ラインや建屋に大きな被害がありましたが、現在拡張を兼ね7,010m<sup>2</sup>

の新工場建屋を建設中です。



堀場エステック阿蘇工場

### ❖ 日本中性子科学会 第17回年会 ❖

期日：2017年12月2日（土）～3日（日）

会場：福岡大学七隈キャンパス（福岡市城南区七隈8-19-1）

主催：日本中性子科学会

共催：日本分析化学会九州支部 他9機関

発表申込期間 2017年10月6日（金）

要旨原稿締切 2017年10月6日（金）

＜発表分野＞1) 磁性・強相関電子系、2) 構造物性、3) 化学・液体・ソフトマター、4) 生物、5) 基礎物理、6) イメージング、7) 材料・鉄鋼、8) 中性子源・装置開発、9) 産業利用

参加登録：事前登録（10月6日まで） 正会員 5,000円、学生会員 3,000円、非会員 20,000円

当日参加 正会員 6,000円、学生会員 4,000円、非会員 30,000円

懇親会：12月2日（土）19:00～ ホテルニューオータニ博多 懇親会参加費 事前登録 7,000円、当日参加 8,000円

問合せ先 日本中性子科学会第17年会実行委員会事務局 福岡市城南区七隈8-19-1 福岡大学理学部化学科 事務局 吉田亨次

TEL: 092-871-6631 (内線 6241)

FAX: 092-865-6030

E-mail: jsns2017@fukuoka-u.ac.jp

詳細は以下のホームページをご覧ください。

<http://www.jsns.net/jp/html/nenkai/index.html>

# 事務局より

## ❖ Analytical Sciences 誌等への投稿のお願い ❖

国際的に認知された論文誌は、会員と学会にとって重要なだけでなく、我が国の優れた研究成果を発信して世界的なプレゼンスを高めます。Analytical Science 誌は、優れた学術論文・総説を掲載し、併せて国際的な認知度を向上させる取り組みを行っています。例えば、J-STAGE によるオープンアクセス化、メールマガジンなどがあります。毎月各号の“Hot Article”選定と表彰、年間最多引用論文賞—“Most Cited Paper Award of Analytical Sciences”も好評を頂いています。投稿は完全に電子化され、スムーズかつ短期間のうちに成果を公開できます。良い研究論文はぜひ Anal. Sci. 誌へご投稿ください。他のジャーナル等に投稿される場合も Anal. Sci. 誌の論文を引用頂けましたら幸いです。Anal. Sci. 誌の国際プレゼンス向上に、皆様方のご協力をお願いいたします。また、「分析化学」などの他誌も可愛がっていただき、機会があればご投稿ください。

## ❖ 入会を歓迎します ❖

あなたのお近くに日本分析化学会への入会を考えていただけそうな方がいらっしゃいませんか？是非、入会をお誘い下さい。支部の事務局へご連絡頂ければ入会案内をお送りします。また、入会ご検討中の方に対しては、要望すれば機関紙の見本を学会本部からもらえるそうです。日本分析化学会の会員拡充にどうぞご協力下さい。

## ❖ 編集後記 ❖

本年も支部ニュースは年2回の発刊を予定しております。次の37号は2018年2月頃に電子版で配信致します。支部ニュースへのご意見、掲載されたい記事等がございましたらお気軽にご連絡ください。まだまだ残暑の日々が続きますが、どうぞ御自愛の上、お仕事・勉学に励んでください。（副支部長・井倉）



2017 年度 日本分析化学会九州支部 事務局

〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪 2-39-1  
熊本大学大学院 先端科学研究部 基礎科学部門 化学分野

支部長	戸田 敬（熊本大学大学院先端科学研究部） todakei@kumamoto-u.ac.jp / 096-342-3389
副支部長	井倉 則之（九州大学大学院農学研究院） igura@agr.kyushu-u.ac.jp / 092-642-3016
副支部長	内原 博（株式会社堀場製作所） hiroshi.uchihara@horiba.com / 075-325-5834/075-315-9525
庶務幹事	大平 慎一（熊本大学大学院先端科学研究部） ohira@kumamoto-u.ac.jp / 096-342-3384
会計幹事	田中 明（熊本大学大学院先端科学研究部） tanaka@kumamoto-u.ac.jp / 096-342-3375